



平成26年9月1日

平群町立平群小学校

文責：木村登美子

改修工事が終了しました

夏休み中に仮設校舎が解体撤去され、1学期と比べ学校の風景が一変しました。昨年の7月から始まった大規模改修工事も終了しました。長い間ご不便をおかけしましたが、おかげさまで無事に工事を終えることができました。東西両小学校の閉校、平群小学校の開校、大規模改修工事と、この1年間は子どもたち、保護者の皆様、そして職員にとっても激動の1年間でした。1学期が慌ただしく過ぎ、子どもたちも大きな変化の中で戸惑うこ



〔プール開放〕↑

夏休みにも子どもたちが頑張っている場面がたくさんありました。陸上記録会に向けての練習、学習教室等で真剣に取り組む子どもたちがいました。2学期を迎え、心身ともに成長して学校へ戻ってきてくれたことと思います。



〔学習教室〕↑

思春期に備えて

～心豊かな夏休みでしたか～

夏休みに家族の絆を深める機会がたくさんあったと思いますが、心豊かに夏休みを過ごしたことが、今はもちろんですが、後になって、特に子どもたちが思春期にさしかかるときにその真価がゆっくりと現れてきます。親子で会話を楽しんだり、一緒に遊びに出かけたり（近くでもかまいません）したことが、思春期になって心が大きく揺らぐ時期に親子の関係をつなぎとめる大切な絆になります。思春期に一時的に危機的な状況になっても、小学生のときに豊かな親子（家族）関係が築かれていれば、子どもは親の気持ちを受け入れてくれるものです。

子どもたちはやがて親、家族よりも友達との関係をより深く求めていきます。親子でゆったりと関係を持てる時期は人生でそんなに長い期間ではありません。「夏休みにあまり勉強しなかった」と感じられた保護者の方もおられると思いますが、何気ない家族の会話を通してもっと大切なことをお子さんが学んでいたかもしれません。



学校図書館が新しく開館します

ボランティアの皆様へ感謝

1学期は北館2階の仮設図書館を開いていましたが、工事の終了に伴い本館2階に新装なった図書館が開館します。

夏休み中、毎日のようにボランティアさんが移転作業も含め図書館の環境整備のために汗を流してくださいました。おかげさまで新学期から新図書館（室）を利用できるようになりました。また、旧西小からの蔵書も入れていただいたので冊数も増えました。児童の貸し出し冊数もグンと増加しています。貸し出しできる日数も増えました。1学期と違い南館からも図書館へ行きやすくなったのもっと本に親しんでほしいと思います。現在蔵書数は11,090冊です。「読書の秋」を満喫してください。

砂の如き 雲流れ行く 朝の秋

正岡 子規

まだまだ暑いですが、季節は秋です。天高く澄み渡る秋にはこの句にある、砂のような目の細い雲が現れ流れていきます。朝の空の情景に子規は「秋」を感じたのでしょうか。

秋になると、陽射しが弱まり気温が低くなるので太陽で暖められた空気が上昇する対流が起こりにくくなります。水蒸気の量が少なく上昇気流が弱くなると「砂のごとき」秋らしい雲が浮かぶようになります。さば雲、いわし雲やうろこ雲という名がついていて雲の形を見ても子どもたちはどんなことを想像するのでしょうか。秋は感性を豊かにする季節でもあります。

